

**サニックスワールドラグビーユース交流大会 2021  
予選会**

**大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン**

サニックスワールドラグビーユース交流大会  
大会事務局

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

本文書は、World Rugby が発行した「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴うラグビー活動の安全な再開について」及び日本ラグビーフットボール協会発行の「日本協会主催試合再開プログラム」に基づき、サニックスワールドラグビークラス交流大会 2021 予選会の開催における新型コロナウイルス感染症の対策の方針を示す資料です。

本文書は、大会を開催する上で、大会に関わる全ての方の感染を最大限に防ぐと同時に感染リスクを下げるために関係者が遵守すべき基準を示すことを目的にしています。

但し、本文書に沿って対応を行ったとしても、感染を完璧に防ぐことはできません。また、新型コロナウイルスに関する情勢は日々変化しており、状況によっては本文書に記載の内容と異なる対応を求められる可能性も存在します。しかしながら、感染のリスクを減らすための対策として、必要な事項が記載されていますので、本大会に関わる全関係者に遵守いただきたいと考えております。

尚、本大会は、感染者は勿論ですが、感染の疑いのある選手、スタッフ、関係者は大会に参加しないことを大前提としております。

### <参考資料>

・World Rugby: 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴うラグビー活動の安全な再開について  
(<https://playerwelfare.worldrugby.org/?documentid=219>)

・日本協会: 日本協会主催試合再開プログラム  
(<https://www.rugby-japan.jp/news/2020/05/31/50484>)

■今大会は全国高体連ラグビー専門部の定める「高等学校ラグビーフットボール新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」に準じて行うことを原則とする。

### 【大会への参加を認めるもの】

■参加者は大会に事前登録し、事前及び当日の健康チェックシートを提出した監督、部長、コーチ、メディカルスタッフ、登録選手、マネージャーに限り、それ以外の者はチームとの帯同を認めない。

### 【グラウンドレベルへの入場を認める者】

- (1)九州・各県ラグビーフットボール協会、高体連ラグビー専門部、審判員などの役員及び補助員、来賓など。
- (2)大会に登録し試合当日に個人健康チェックシートを提出した監督、部長、コーチ、メディカルスタッフ、登録選手、マネージャー、ウォーター係。
- (3)九州ラグビーフットボール協会から入場を許可された者（医師・看護師・報道関係者等）。

(注)保護者、応援者、観戦者、チームカメラマンの方のグラウンドレベルへの立ち入りは一切禁止致します。

# 新型コロナウイルス感染拡大防止について

## 【全般的な注意事項】

■ 全ての関係者が会場に入場する際の必須条件として、入場の際の検温、健康状況の書面での確認を提出すること。

**※37度5分以上の発熱が認められる場合は入場を認めない。**

■ 試合当日は、チーム参加者全員の「当日チーム健康チェックシート」を代表者が提出すること。

■ 審判員などの大会役員、来賓、医療関係者、報道関係者は本部にて「個人健康チェックシート」記載のうえ提出する。

■ 観戦者は入場口で検温・健康チェックの後、入場すること。**参加校選手、スタッフなどとは接触しないこと。**

■ 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、提出された書面については大会事務局において少なくとも1か月以上保存しておく。また、大会事務局は関係者全員の連絡先を管理する。

■ 全ての関係者は、2週間前から試合当日までの健康状況と行動履歴書を記録しておくこと。

## 【大会参加者への事前対応】

感染拡大防止のために、以下の事項を遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。各チームにて参加者への周知徹底をお願いします。

(1) 現在、以下に記載の項目を含め、新型コロナウイルス感染症の兆候が一切見られないこと。

参加者個人は「参加者個人 事前健康チェックシート」に記入し、グローバルアリーナ到着日にチーム代表提出すること。チーム代表者はそれをまとめ、「事前チーム健康チェックシート」に記入し大会事務局に提出すること。

①新型コロナウイルス感染症に関係するいかなる症状も直前の14日以内に見られないこと。

ア 37度5分を超える発熱

イ 咳、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)

エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる・疲れやすい等

②生活を共にする家族等にも新型コロナウイルス感染症に関するいかなる症状も直前の14日以内に見られないこと。

③新型コロナウイルス感染者や感染が疑われる人に直前の14日間に接触していないこと。

④過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触していないこと。

(2) 大会期間中インフルエンザ流行の可能性もありますので、選手・チームスタッフは極力インフルエンザワクチンの接種を予め受けるようにして下さい。

(3) マスクを持参すること(競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクを着用する)

(4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

(5) 他の参加者、大会関係者等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。

(6) 大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。

(7) 更衣場所の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- (8) 試合終了後、各チームはベンチ、ロッカー消毒した後、速やかにから退出すること。
- (9) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (10) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者を通して主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (11) 移動についての注意事項。
  - 公共交通機関での移動を避けられるチームは、可能の場合は個人による移動を検討する。
  - できるだけ車の相乗りは避けるようにする。
  - 公共交通機関で移動する場合、各個々人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。
  - チャーターバスを利用する場合は、運行会社と協力し、事前・事後に徹底的にバスを清掃・消毒するように手配し、余裕を持った座席数の確保や換気の徹底等の予防策を講じること。

### 【大会参加申し込みについて】

- (1) チーム責任者は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書を取り、参加申し込みを行う。同意書は各チームで保管すること。
- (2) 大会参加を強要しないよう配慮すること。
- (3) 代表者は参加者全員の連絡先を保有していること。

### 【選手または関係指導者の感染が判明した場合の考え方】

#### (1) 大会前

- ① 選手または指導者などチーム関係者の感染が判明した場合には、当該者また濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。
  - ※但し、濃厚接触者と特定され、積極的疫学調査によって PCR 検査陰性の場合も、2 週間の経過観察を経たのち、医師の判断を仰ぎ、所属校長・事務局の許可を得ることができれば参加を認める。
- ② 参加申し込み後における選手変更は 1 月 1 日の代表者会議まで認める。
  - ※新型コロナウイルスの感染者が出た場合、「濃厚接触者」を決めるのは「所轄の保健所」であり、遅滞なく、正しい情報を提供すること。

#### (2) 大会期間中

- ① 発熱等の症状がみられる場合、試合出場を認めない。
- ② 当日、急に症状が出た場合は、他の選手から隔離し健康観察を徹底する。必要であれば医療機関での受診をする。指導者から保護者にも連絡する。
- ③ 他の選手への健康観察を徹底する。
- ④ 医師の指示により PCR 検査を受けた場合、当該校の試合は辞退とし不戦敗とする。
  - PCR 検査の診断結果が陰性の場合、当該者を除く選手は試合を行うことができる。
  - PCR 検査の診断結果が陽性の場合、大会は中止としその後の対応は保険所の指示に従うものとする。

#### (3) 大会後

- ① 大会後に新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合は行政機関の指示に従うこと。その結果については各校責任者から大会事務局に報告すること。
- ② 感染者が発生した場合、各校責任者は、感染者を特定しようとすることや SNS で誤った情報を発信することのないように生徒に適切に指導すること。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

※(1)～(3)の全ての場合において必ず大会事務局に報告し連携を取ること。最終的には、大会事務局の指示に従うこと。また不明な点についても事務局に問い合わせること。

### 【大会中止の要件】

- 新型コロナウイルス感染者が発生した場合。
- 緊急事態宣言が発令された場合。
- 県教育委員会等により休校措置が講じられた場合。
- 競技球場の使用制限等、関係諸機関の指示により試合実施が不可能となった場合。
- 大会運営上に支障をきたす場合。

※大会中止については上記の要件を踏まえて、感染状況により主催者と大会事務局で協議をして判断する。

### 【大会当日の留意事項】

- 試合当日は、チーム参加者全員の「当日チーム健康チェックシート」を代表者が大会事務局に提出すること。提出がない場合は、会場への入場、大会参加は認められない。
- 常にフィジカルディスタンス(できるだけ2m)を保つこと。
- 会場内は必ずマスクを着用し、大きな声での会話や応援等をしない。
- ベンチで待機するリザーブ選手・チームスタッフ及びピッチサイドで待機するチームメディカルスタッフはフィジカルディスタンスを確保できない場合、マスクを着用する。但し、ウォームアップ時や交替直後の選手など、健康状態の維持に支障が出る場合を除く。
- 大会で手配したマッチドクターやメディカルスタッフの服装、装備について  
大会で手配したマッチドクターやメディカルスタッフは濃厚接触者となることを避けるため、マスク、防水性手袋、ゴーグル(又はフェイスシールド)の着用装着を義務づけるものといたします。  
また、担架使用で体位変換を行う場合や医務室での治療時はガウンの着用を推奨いたします。
- 会場内にアルコール消毒液を設置するのでこまめな手指消毒を心掛ける。
- 毎試合終了毎に使用したボールを消毒する。
- 各チームは消毒液等を持参する。なお、各選手席(ベンチ)や更衣場所は、使用したチームが消毒する。
- ウォーターボトル・タオル・ヘッドキャップ等の個人の備品は必ず区別し、栄養補給サプリメント等も含め共用・使いまわしをしない。タオルやアイシング用の氷も共用はしない。
- フィジカルディスタンスを確保できない円陣等は避ける。握手・ハイタッチ・抱き合う等の行為は禁止とする。
- 更衣場所は、密にならない様に入れ替わりながら使用する。更衣場所でのミーティングを禁止する。

## 会場での感染防止のために遵守すること

### 【参加者・チーム用】

※大会参加者及びチームスタッフ、学校関係者は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

#### (1) 来場前の健康チェック

- 発熱の有無(発熱とは37度5分以上の熱)
- 咳や喉の痛みなどの風邪の症状の有無
- だるさ、倦怠感、息苦しさ(呼吸困難)の有無
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるかの有無
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無

※来場時に指定の新型コロナウイルス感染症の「事前チーム健康チェックシート」を必ず提出すること。

#### (2) 会場で感染防止のために遵守すること

##### ① 大会期間中に注意すること

- 朝、晩の検温を含めた健康管理を毎日行うこと。
- 毎日大会事務局に指定の新型コロナウイルス感染症の「当日チーム健康チェックシート」を必ず提出すること。
- マスクを持参し、ウォーミングアップ中、競技中以外はマスクを着用すること
- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 他の参加者、スタッフ等との距離を確保すること
- 更衣場所の使用は原則更衣のみとし、長時間使用することがないようにすること
- 会場内で大きな会話、応援等をしない
- ゴミは各自で所定の場所に処理すること

##### ② 試合中に注意すること

- ベンチでは距離を取り座ること
- 応援場所については、会場責任者の指示に従うこと
- 応援の際はマスクを着用し、周囲と適切な距離を空けて応援を行うこと
- ベンチ、応援席からの大きな声での指示や応援は慎むこと
- 水筒や飲料用ボトル、ボール拭きなどのタオルの共有は行わないこと
- ハイタッチ、握手、肩組みなどの接触は行わないこと

##### ③ 試合終了後に注意すること

- ベンチは使用したチームが消毒を行うこと
- 更衣後、使用した更衣場所は、消毒を行い速やかに退場すること
- 更衣場所でのミーティングを行わない
- 更衣場所での食事は行わない

※大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者を通して主催者に対して速やかに報告すること。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

### (3)その他

- 試合前後のミーティングにおいても3密を避ける
- 更衣場所の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける
- 移動についての注意事項。
  - 公共交通機関での移動を避けられるチームは、できるだけ車の相乗りを避けた個人による移動を検討する
  - 公共交通機関で移動する場合、各個人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する
  - チャーターバス等で同乗車両を利用する場合は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する

### 【大会役員、競技役員、来賓、医療関係者、報道関係者等会場への入場が認められた人用】

※会場への入場が認められた人は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

#### (1)来場前の健康チェック

以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（当日に確認を行う）

- 発熱の有無（発熱とは37度5分以上の熱）
- 咳や喉の痛みなどの風邪の症状の有無
- だるさ、倦怠感、息苦しさ（呼吸困難）の有無
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるかの有無
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触かの有無

※来場時に指定の新型コロナウイルス感染症の「当日健康チェックシート」を必ず提出すること。

#### (2)会場で感染防止のために遵守すること

##### ①来場中に注意すること

- 検温を受けてから手指のアルコール消毒を行い入場すること
- 会場ではマスクを着用すること
- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 選手、チームスタッフ、運営スタッフ等との距離を確保すること
- 自身のタオル、ドリンク等を他者と区別できるようにしておく。
- 無線機の共有はしない。やむを得ず使用する場合は十分な消毒をする

※大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

---

### (3)その他

- 滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。
- 移動についての注意事項。
  - 公共交通機関での移動を避け、個人による移動を検討する。
  - できるだけ車の相乗りは避けるようにする。
  - 公共交通機関で移動する場合、各個人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。
  - 同乗車両を利用する場合は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する。

### 【一般観戦者(保護者含む)用】

※試合観戦に来られた人は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

#### (1)来場前の健康チェック

以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる(当日に確認を行う)

- 発熱の有無(発熱とは37度5分以上の熱)
- 咳や喉の痛みなどの風邪の症状の有無
- だるさ、倦怠感、息苦しさ(呼吸困難)の有無
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるかの有無
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触かの有無

※来場時に指定の新型コロナウイルス感染症の「当日健康チェックシート」を必ず提出すること。

#### (2)会場で感染防止のために遵守すること

##### ①来場中に注意すること

- 入場ゲートで体温を測定し、37.5度以上の場合は入場できません
- 会場ではマスクを着用すること
- 会場内では常にフィジカルディスタンス(できるだけ2m)の距離を確保すること  
(観戦時の座席、売店の列、トイレの列など)
- 大声での発声、歌唱や声援、密集等の感染リスクのある行動を回避すること
- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 選手、チームスタッフ、運営スタッフ等との距離を確保すること

※大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。



### (3)その他

□滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。

□移動についての注意事項。

○公共交通機関での移動を避け、個人による移動を検討する。

○できるだけ車の相乗りは避けるようにする。

○公共交通機関で移動する場合、各個人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。

○同乗車両を利用する場合は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する。